

あさひげんき通信2月号

旭地区の人口と世帯数（令和5年1月1日現在）

人口 2,396人（前月比-2人）
世帯数 1,036世帯（前月比-3世帯）

空き家情報バンク制度による移住実績

令和4年度（1月31日現在） 6組 11人
制度開始（平成22年度）以降の累計 88組 204人

旭地区コミュニティ会議



令和5年1月8日（日）、『旭地区二十歳のつどい』が旭交流館で開催されました。

令和4年4月から成年（成人）年齢が18歳に引き下げられたことから、豊田市では『二十歳（はたち）のつどい』に名称を改め、これまでと同様に20歳の方を対象に式典を開催しました。

来賓の方々、旭中学校の恩師、ご家族や実行委員に見守られ、二十歳を迎えた19名が大人への一歩を踏み出しました。快晴にも恵まれ、スーツや晴れ着姿の皆さんは、仲間や恩師との久々の再会に笑顔があふれていました。



第1部 記念式典

<式辞・来賓祝辞>

稲垣辰郎実行委員長の式辞から始まり、市役所旭支所鈴木支所長による豊田市長の祝辞の代読に続き、海老澤市議からお祝いの言葉をいただきました。

豊田市長の祝辞には「若い力と柔軟な視点でまちに関わり、体験や取組を通じ地域社会で活躍されることを期待しています。」といった言葉がありました。



<二十歳誓いの言葉>

代表の有馬ヨオマさんが、自分の描く『かっこいい大人』像について、尊敬する両親の生き方を紹介して話しました。結びには「大人としての自覚と責任を持って各々の目指す人物像に近づけるよう努めます。」と力強く述べ、誓いの言葉としました。



<記念オブジェ披露>

記念事業として中学校卒業時に全員で制作した木彫りのクッキーを、代表者5名で修復したことを代表の松井慎亮さんが披露しました。松井さんは「この先様々な看板を背負った時、恥ないよう学び続けたいという誓いの思いを込めて修復しました。」と語りました。

記念オブジェのクッキーは、旭観光協会前で展示されています。



<記念品贈呈>

記念品として『Tシャツ』が、二十歳のつどい実行委員会から代表の安藤亜美花さんに授与されました。

『Tシャツ』は、有馬ヨオマさんがデザインしたものです。



THE
Nine Suns®
town than city

有馬ヨオマさんによるデザイン

<閉式～記念撮影>

第1部記念式典終了後、全員で記念撮影を行いました。



第2部 記念行事

<じゃんけん大会>

第2部は、司会を執行委員の太田朱音さん・増田ひかりさんにバトンタッチし、恩師を交えて『じゃんけん大会』が行われました。

卒業時担任の前川拓哉先生を相手に、勝った人から賞品を受け取っていました！



<恩師からの言葉>

恩師代表として前川拓哉先生が、近況を交えながら「色々なことに挑戦できる自由があります。責任をもって色々なことに挑戦する大人に成長しましょう。」とお祝いの言葉を述べられました。

出席された恩師の方々からのお祝いの言葉を、冊子にまとめ配布しました。



<二十歳の成人よりお礼>

最後に、携わってくれた多くの方へ感謝の言葉を伝え、恩師の方へお礼の品を手渡しました。



大人への一歩

～チャレンジ～



トピックス

地域の話題

鈴木 俊郎さん（杉本町）が旭日単光章を受章されました！！



俊郎さんと妻のナヤ子さん

鈴木さんは、平成5年5月から平成17年3月までの3期約12年にわたり旭町議会議員を務められ、町議会議員の立場から市町村合併の成立や東海豪雨災害復旧、現在の旭中学校建設などにご尽力されました。

「特に印象に残っていることは市町村合併。住民の皆さんに合併の意義を丁寧に説明し、理解をいただいたことで合併が成立した。当時の状況から、合併してよかったと感じている。」と語られました。

今後は地域の皆さんの支援と家族の協力に感謝しながら、「我農生^{がのうせい}」を生活信条として自然薯栽培に力を入れていかれるそうです。本当におめでとうございます！

空き家情報バンクへの登録促進にご協力ください！

皆さんのお家の周りに、空き家はありませんか？豊田市の『空き家情報バンク』は、空き家を活用して移住者の定住を図り、コミュニティを活性化するための制度です。

空き家情報バンクには、家を片付けたり、改修するための補助金制度もあります。

現在、都市部から山間部への移住を希望する人は多くいますが、物件登録があまり進んでいないのが現状です。

皆さんの周りに空き家がある場合は、地域の方から空き家の所有者に声をかけていただいたり、所有者が空き家の活用に困っている場合には、区長、町内会長、自治区の定住委員の方、もしくは旭支所の定住担当まで相談するようお願いください。

豊田市役所 旭支所 ☎68-2211（定住担当：大石、山本）

浅野自治区の話題

～ 二十歳のつどいが開催されました！～



稲垣区長と「二十歳」の皆さん

令和5年1月8日（日）、旭交流館において「旭地区二十歳のつどい」が開催されました。

浅野自治区で参加されたのは、下切町の松井慎亮さん、山岡桂菜さん、浅谷町の有馬ヨオマさんの3名です。3名の方に、これからの抱負をうかがいました。

松井さんは「家を継ぎたい」、山岡さんは「楽しく明るく生きていく」、有馬さんは「一級建築士の資格を取得して、建築士になる」と、希望に満ち溢れた様子で言葉をいただきました。

（浅野自治区 広報部からの投稿記事）

キャッシュレス対応レジを導入しました！

市役所旭支所の窓口でキャッシュレス決済が利用できます。

★対象手続き

住民票の写し、戸籍、印鑑証明書、税関係証明書など全ての証明書の発行手数料、ごみ袋販売など。
※金券類(し尿くみ取り券など)の販売など、一部キャッシュレス決済ができないものもあります。

★利用できるキャッシュレス決済手段

クレジット / デビット / プリペイド
VISA、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Union Pay (銀聯)、DISCOVER

電子マネー
iD、楽天Edy、WAON、nanaco、QUICPay、交通系 IC カード (Kitaca、Suica、PASMO、TOICA、manaca、ICOCA、SUGOCA、nimoca、はやかけん)

QRコード決済
PayPay、楽天ペイ、d 払い、au PAY、メルペイ、ゆうちょ Pay、BankPay、Union Pay QR (銀聯)、Alipay、WeChat Pay

※令和5年1月末の情報です。

※詳しくはこちらから →



【問合せ】 豊田市役所 旭支所 市民生活担当 電話 68-2213

足助消防署旭出張所からのお知らせ

【問合せ】

足助消防署旭出張所 電話 68-1119

今後30年以内には東南海地震が70~80%の確率で発生すると言われています。

地震が発生したら・・・ もしもの時に必要な行動を確認しましょう！

【地震時の行動】

- ・まずは、身の安全を確保！

【地震直後の行動】

- ・慌てた行動は、ケガのもと！
- ・落ち着いて、火の元確認、初期消火！
- ・余震が来るかも！窓や戸を開けて出口を確保！

【地震後の行動】

- ・避難の前に電気のブレーカーを落とし、ガス栓を閉める。
- ・正しい情報を確保 (防災ラジオ、防災行政無線、緊急メールとよた等)
- ・安全迅速な避難 (門や塀に近付かない)
- ・我が家の安全、隣の安全 (近所への声かけ)
- ・協力し合って、救出救護！

足助警察署からのお知らせ

足助警察署 電話 62-0110

～ 事件・事故 緊急事案は110番、警察の相談ダイヤルは#9110 ～

事件解決のキーワードは「すばやい通報」にあります。

必要な時は、遠慮せずに、落ち着いて110番して下さい。

緊急性のない相談は、足助警察署または警察相談専用電話「#9110」へお願いします。



旭コッキーバス (予約バス) をご利用ください!!
予約センター ☎ 0120-81-4997

豊田市役所旭支所への電話は

●地域振興担当/68-2211 ●市民生活担当/68-2213

【夜間・休日等職員不在時は足助支所警備員室へ転送されます】



※ あさひげんき通信は、豊田市ホームページからもお楽しみいただけます。

豊田市 旭支所だより 🔍 検索